

日本におけるデジタル化の状況

G584802025 細川 郁斗

2025 年 7 月 7 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

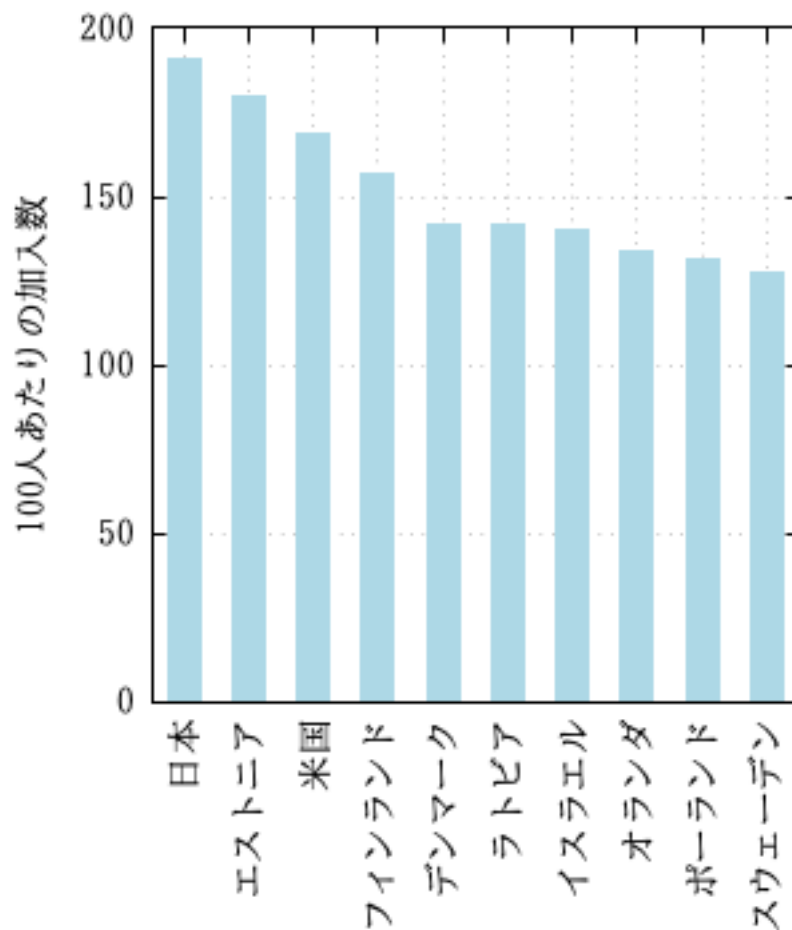


図 1: 図 1：光ファイバー回線の加入者数（100 人あたり）

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査図 [2] によると、表 1 に示すように、日本のデジタル競争力ランキングは調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、知識分野で 25 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	知識
米国	1 位	3 位
香港	2 位	5 位
スウェーデン	3 位	2 位
デンマーク	4 位	8 位
シンガポール	5 位	4 位
韓国	12 位	15 位
中国	15 位	6 位
日本	28 位	25 位

3 考察

- 日本は光ファイバー回線の加入者数が多くライフラインとなっていると考えられる。
- 中国は知識の順位が高いためこれ r から総合順位も上がっていくだろうと考えられる。

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.